

< マニュアル訂正連絡票 >

ASP 操作手引書 V25

[J2K0-0259-01]

2015年8月31日発行

修正箇所(章節項): M.2 ワークステーションログが終端に近づいた場合の対処

旧記事

M.2 ワークステーションログが終端に近づいた場合の対処

自動的に DMPWSLOG コマンドを実行するため、S5074 の通知メッセージを監視するバックグラウンドジョブを起動しておきます。

以下にバックグラウンドジョブのサンプル CL を示します。

```
/.-----./
/.  S5074 監視 CL          ./
/.-----./
PGM
  VAR ?WS,NAME
  ACTMSGQ MAXRMSG-10,SCI-DEV|DSP*|@A
WAIT:
  RCVMSG WAIT-@YES
  IF @PGMRC = 5074 THEN
    ?WS := %NAME(@PGMRD)
    DMPWSLOG WKSTN-?WS,FORM-@TOP
  END
  GOTO WAIT
/.-----./
/.  エラー処理          ./
/.-----./
WHEN ABNORMAL
  RETUEN @PGMEC
END
```

この CL では、ACTMSGQ コマンドで、装置名が DSP で始まる装置の通知メッセージの発生を監視し、通知メッセージが発生したら、DMPWSLOG コマンドで、ワークステーションログの先頭から印刷を行います。

M.2 ワークステーションログが終端に近づいた場合の対処

自動的に DMPWSLOG コマンドを実行するため、S5074 の通知メッセージを監視する**バックグラウンドジョブ**を起動しておきます。

以下に**バックグラウンドジョブ**のサンプル CL を示します。

```
/.-----./
/.  S5074 監視 CL          ./
/.-----./
PGM
  VAR ?WS,NAME
  ACTMSGQ MAXRMSG-10,SCI-DEV|*|@A
WAIT:
  RCVMSG WAIT-@YES
  IF @PGMRC = 5074 THEN
    ?WS := %NAME(@PGMRD)
    DMPWSLOG WKSTN-?WS,FROM-@TOP
  END
  GOTO WAIT
/.-----./
/.  エラー処理            ./
/.-----./
WHEN ABNORMAL
  RETUEN @PGMEC
END
```

この CL では、ACTMSGQ コマンドで、**S5074** の通知メッセージが発生したら、DMPWSLOG コマンドで、ワークステーションログの先頭から印刷を行います。